

さんてくの〜と

第33号

2023

8月

株式会社サン・テウ

北海道も夏真っ盛り!

25度を超える暑い日も・・・



もうすぐお盆休みですね!

今年は新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され旅行を満喫する方が多いのではないのでしょうか。札幌市内においても海外や道外からの観光客が増え、以前のような活気が戻りつつあります。

5月8日以降、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、めっきりニュース等で取り上げられることが少なくなりましたが第9波の入口との声も上がってきております。

5類感染症とは・・・?

国が感染症発生動向調査を行い、その結果に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・蔓延を防止すべき感染症のこと。

主なものとしては季節性インフルエンザ等。※厚生労働省HPより引用 <https://onl.tw/pqLvLiU>

※発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことから、発症日を0日目(無症状の場合検体採取日を0日目)として5日間は外出を控えることが推奨されております。 ※厚生労働省HPより引用 <https://onl.tw/WpTg8Em>

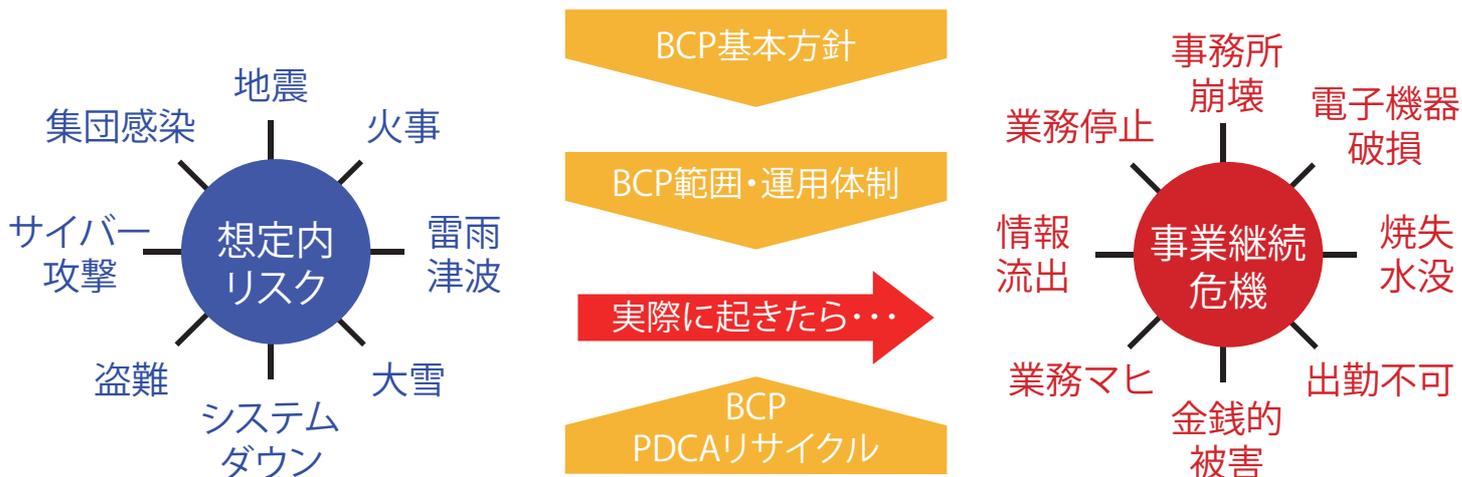
無症状の方も感染力を持っているので、感染症対策の準備はまだ必要そうです。

BCP(Business Continuity Plan)

テロや災害、システム障害等の危機的状況下に置かれた場合でも、事業を継続的に行うことができるように計画を立てて戦略を定めたものを「Business Continuity Plan(事業継続計画)」といいます。

優先順位や重要度を基にさまざまな角度から準備をすることで、実際の有事で最速に判断をし、行動することが出来ます。

もしまだ計画を立てていないようでしたら、検討されてみてはいかがでしょうか?



BCPを進める中で

意外と盲点なのは・・・??



〈BCPの進め方の一例〉

- ①リスクの想定をする
- ②実際にリスクが発生すると人(お客様・従業員等)、物(在庫・物流を含む)、金銭、情報(有形/ハードウェア・無形/ソフトウェア)に対して**どんなことが起きるのか**を検討する
- ③**復旧までの時間**を定める
- ④起きる事象に対して優先順位を付ける
- ⑤復旧時間と**優先順位**に合わせて対策を検討をする
- ⑥対策の手順書の作成・検証
- ⑦対策導入⇒マニュアル書の作成

☆対策事例☆

- ・システムの導入
- ・設備固定
- ・災害が発生した時の対応マニュアルを全従業員へ事前に配布
- ・避難訓練や消防訓練を行う
- ・SNSを通して連絡手段の確保

よくあるのが導入製品ありきのBCP

導入したけど活用できていないケース、オーバースペックとなって高い商品を購入してしまったり、スペックが足りず使えないものを買ってしまったりと様々。その為、弊社では全体計画からの導入をおすすめしております。



そんな中「会社の電話」は盲点になりやすいんです

【問題点】

会社に着信があった場合、対応することができない。

出社が出来ない状態だと・・・



転送サービス使用の場合・・・

転送先は1番号1回線のため、電話が集中して処理が間に合わない場合がある。

会社から転送先への電話料金は会社負担。

気付かないうちに数万円になってしまうことも・・・

会社への着信をスマホや携帯電話で代用は難しいかも・・・



BCPの計画、会社の電話運用に関してお気軽にご相談を！
内容に興味を持った方、実際にお困りの際は
是非お電話またはFAX・Lineにてご連絡下さい!!



@175ouxgo

〒065-0020 札幌市東区北20条東9丁目1番7号

株式会社 **サン・テクノ**

TEL : **011-711-7788** / FAX : 011-711-5080

営業用Mail: **sales@3techno.co.jp**